

園長印	講師印	園長補佐印	主任印	担任印

週指導計画 尾道市立木ノ庄東幼稚園 5歳児 ゆり組
11月 2週 11月 11日(月)～ 11月 15日(金)

期のねらい ○園生活に見通しをもち、生活を進めていく。
○友達と遊ぶ中で、思いや考えを出し合い、イメージを共有しながら協力して遊ぶ。
○自然物を遊びに取り入れて、工夫して遊ぶことを楽しむ。

先週の幼児の姿からの願い

○『わくわくランド』に向けての遊びでは、それぞれのコーナーに必要な物を作ることに一生懸命になり、本来の目的である「年少・年中児を招待して喜んでもらう」ことを見失ってしまっていた。子供たちが遊びながら、様々なことに気付いたり、話をしたりできるように、子供の心がわくわくするような環境を子供と一緒に再構築したり、遊びの振り返りを受けて、本当に子供がしたいことを見直し、話し合いをしたりして遊びの立て直しをした。すると、遊びが停滞していたのは、子供だけではどうしたらいいかわからない「つまずき」が見えてきた。子供に話を聞きながら、教師も一緒に思いを形にしていくことで、さらなるイメージが広がったり、お客さんとお店屋さんになって感じたことを話したりする姿が増えてきている。『ドングリアスレチック』では、ドングリをゴムで引っ張るところが年少児では難しいのではないかと気付いて、どうやったら年少児でも楽しめるか友達と思いついたアイデアを試して考えている。自分たちの立てた目的に向かって相手意識をもって友達とやり遂げられるように、つまずきや思いを聞き取りながら遊びを進めていきたい。

○ドッジボールや『わくわく遊園地』の遊びを友達と一緒に楽しんでいる。友達と刺激をしながら、自分なりの目的に向かって体を動かしている。ドッジボールでは、ボールをよける時に「最後までボールを見とかんといけん」「下に逃げたら頭に当たるのはセーフじゃけいい」など、自分なりの遊びの中で様々なことを気付いている。「○○くんはよけるのも投げるのもうまいんよ」「僕は今日一回も当たらんかった！」と友達の良さを認めたり、自分なりの目標を達成できたことに自信をもったりする姿もある。その自信が友達と関わりながら体を動かして遊ぶこと、思いを伝え合いながらルールや遊び方を考えることにつながるように、子供なりの気付きや喜びを認めていきたい。

○『いろいろやさん』で、木の枝のポッキーに「チョコレートがいるじゃろ」と絵の具でいろいろな味のチョコレートをかけて、自然物を生かしながら本物に近づけている。また、ドングリをジュースに見立て色を付けドングリがうまく出る機械を工夫して作っている。『ガチャガチャ』の景品では数珠玉やドングリなどを使ってアクセサリーを作るなど、自然物を使って子供なりの工夫ができるようにしたい。

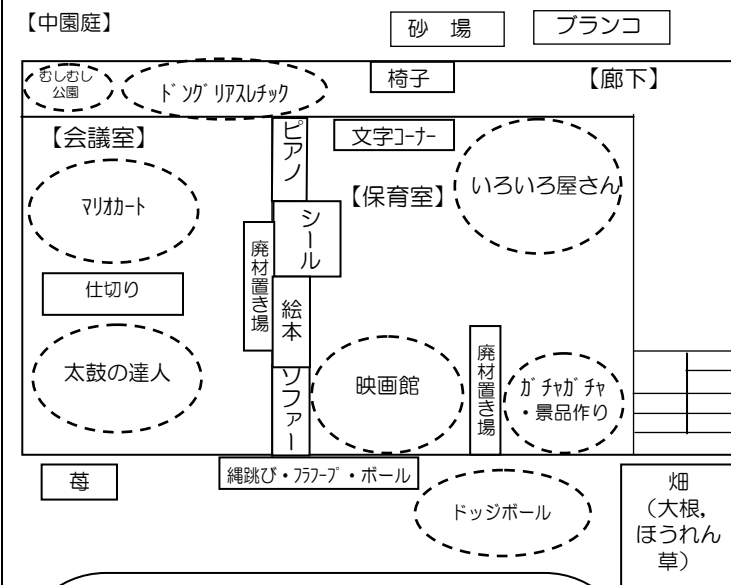
週のねらい ○共通の目的に向かって自分たちで遊びを進める楽しさを味わう。
○ルールのある遊びを通して友達と考えを伝え合いながら、体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。
○秋の自然物に興味をもち、遊びに取り入れて楽しむ。

内容 ・共通の目的に向かって思いを伝え合う中で、友達の良さに気付いたり、工夫したりする。
・友達と誘い合い、ルールを共有しながら、体を動かして遊ぶことを楽しむ。
・木の実や木の葉等を使って試したり工夫したりして遊ぶことを楽しむ。

活動予定(行事・絵本・歌等)	11日(月)	12日(火)	13日(水)	14日(木)	15日(金)
8:30 登園・身支度 好きな遊び	8:30 登園・身支度 好きな遊び	8:30 登園・身支度 好きな遊び	8:30 登園・身支度 好きな遊び	8:30 登園・身支度 好きな遊び	8:30 登園・身支度 好きな遊び
10:15 片付け・朝の会 ・遊びの振り返り (♪やまのようちえん♪ 10:40 製作(景品作り) ・ガチャの景品を作る ・自然物を入れて 11:15 振り返り・話し合い ・明日に向けて 11:40 給食準備・給食 好きな遊びをする。 13:20 片付け・降園準備 13:40 帰りの会 (『おちばがおどる』 14:00 降園する	10:15 片付け・朝の会 ・遊びの振り返り ♪もりのくまさん♪うたえん 10:40 宣伝ポスター作り ・チームごとに宣伝ポスターを作る 11:15 振り返り・話し合い ・明日に向けて 11:40 給食準備・給食 好きな遊びをする。 13:20 片付け・降園準備 13:40 帰りの会 『エルマーのぼうけん』 14:00 降園する	10:15 片付け・朝の会 ・遊びの振り返り ♪パンパン♪まつぼっくり 10:40 降園準備・帰りの会 10:50 降園する	9:30 片付け・朝の会 ・遊びの振り返り ♪どんぐりころころ♪まっかなあき等) 9:50 わくわくランド 開店準備 10:00 いちご・りんご 10:30 ひまわり・たんぽぽ 11:00 振り返り・話し合い 11:40 給食準備・給食 好きな遊びをする。 13:10 片付け・降園準備 13:30 わくわく絵本読み聞かせ 14:00 降園する	9:20 片付け・朝の会 ・遊びの振り返り (♪まっかなあき等) 9:45 ばたぼん読み聞かせ ・読み聞かせを見る 10:30 わくわくランド ・自由に来ていいよ 11:00 振り返り・話し合い 11:40 給食準備・給食 好きな遊びをする。 13:20 片付け・降園準備 13:40 帰りの会 (『おちばがおどる』 14:00 降園する	

○予想される活動 ☆環境の構成 ●教師の援助

【わくわく広場】
わくわく遊園地・チャレンジ(雲梯、鉄棒等)
【遊戯室】
・サーキット ・ドッジボール 等



・秋の自然物に興味をもち、遊びに取り入れて楽しめるように…
☆身近な秋の自然に興味をもてるように、絵本や図鑑を掲示する。
☆秋の自然物を見立てたり、飾りに使ったりして遊びに取り入れられるように、子供が見つけたり、家庭から持ってきたりした木の実や落ち葉などを種類別に分けて、遊びのコーナーに置いておく。
☆生き物が冬に備える様子をそっと観察できるように環境を整える。
○ドングリアスレチック ○いろいろな屋さん ○むしむし公園(ザリガニ) ○景品作り 等
●生き物が冬に向けて準備する様子に気付けるように言葉がけをする。
●木の実や落ち葉を自由に遊びに取り入れられるように、子供と一緒にコーナーに分ける。
●ドングリを使って、友達と試したり工夫したりして遊ぶ姿を見守り、アイデアを認めたり、共感していく。
●遊びに取り入れる中で、身近な自然物の性質や特性に気付いたり、友達と話しながら遊びを進める中で、自然物を使う面白さや楽しさを味わえるように共感したり、認めたりしていく。

・共通の目的に向かって自分たちで遊びを進める楽しさを味わえるように…
☆遊びに必要なアイテムを自分たちで考え作れるような素材を用意しておく。
☆遊びに必要なルールを友達と考え、共有して楽しめるように、ルールを掲示できるようにしておく。
○マリカト ○太鼓の達人 ○ガチャガチャ ○映画館 ○いろいろな屋さん ○ドングリアスレチック 等
●遊びに必要な物をイメージし、いろいろな素材を使って考えたり工夫したりして作っている姿を認めていく。大きな物は、友達とイメージを共有し、一緒に作る楽しさを感じられるようにする。
●遊びに必要な物を一緒に作る中で、物の性質や特性などに気付いたり、友達とコツを伝え合ったりして遊ぶ姿を見守り、友達によさに気付けるようにしていく。
●友達と考えを合わせながら一緒に遊ぶ楽しさを感じられるよう、友達とのやりとりを見守ったり、友達によさを伝えたりしていく。
●遊びがより楽しくなるよう、友達と考えを合わせながら一緒に遊ぶ姿を見守り、友達によさを伝えたりしていく。
●役割に分かれて、自分たちで遊びを進める姿を見守り、認めていく。

・ルールのある遊びを通して友達と考えを伝え合いながら、体を動かして遊ぶ楽しさを味わえるように…
☆ボールやライン引きなど、遊びに必要なものがすぐ手に取れるように、玄関前に配置しておく。
☆ドッジボールのルールを共通認識できるように、保育室に掲示しておく。
☆わくわく遊園地の子供の考えた技を階段に掲示する。
○ドッジボール ○わくわく遊園地 等
●体を友達と一緒に動かして遊ぶ楽しさを受け止めながら、いすぎた関わり方をしている子には、必要に応じて互いの思いに気付くような関わり方を知らせていく。
●自分なりにめあてをもって運動遊びに取り組む姿を認め、自信につながっていくようにする。友達にコツを教え励ましたり、できるようになった喜びに共感したりしている姿を認めていく。
●ドッジボールやわくわく遊園地など、友達と誘い合い、自分たちで遊び方やルールを伝え合いながら、遊びを進めている姿を見守っていく。
●遊びの中で、困ったときは、互いが思いをしっかり出せるよう、見守り、どのようにしたらよいか考える過程を大切にしておく。

生活習慣・家庭との連携
・気温の変化に応じて、自分で考えて衣服の調整ができるよう、声をかけ知らせていくその際、スモックのたたみ方等、丁寧にできるよう知らせていく。
・下駄箱の靴のそろえ方を再確認し、丁寧にできるよう繰り返し声をかけ、丁寧に心地よさを知らせていく。
・自分の道具棚を丁寧に整理できるよう、繰り返し声をかけ、確認をする。

評価・反省
○共通の目的に向かって自分たちで遊びを進める楽しさを味わっていたか。
○ルールのある遊びを通して友達と考えを伝え合いながら、体を動かして遊ぶ楽しさを味わっていたか。
○秋の自然物に興味をもち、遊びに取り入れて楽しんでいたか。